

歩いて暮らせるまちづくり

～車、公共交通機関、自転車…

さまざまな移動手段の共存を目指して～

松山市の交通戦略

今ある都市交通体系を最大限にいかしながら相互の連携を強化することで、人々の暮らしに応じた“多様な交通プラン”を提案し、人・まち・環境にやさしい持続可能な快適交通体系を実現することを目指しています。



道路空間の再配分

都市内の限られた道路空間を有効に活用しながら、快適な歩行環境の形成を目指し、電線類の地中化整備に合わせた道路空間の再配分や建物壁面（ファサード）整備を実施しています。



整備前



整備後

※定期的に歩行者空間を活用しマルシェを開催

松山市中心部で、歩行者や自転車といった遅い交通を優先し安全・快適な歩行者空間の創出に取り組んでいます。

松山市駅前広場改変構想（案）

コンパクトシティのシンボル広場を目指して

「歩いて暮らせるまちづくり」を進めるため、一日約3万人の乗降客が行き交う「松山市駅前広場」の整備を行っています。

このシンボル広場の整備で、公共交通の乗り継ぎが快適で便利になるほか、にぎわいの空間を創り出し、中心市街地の活性化を促します。



令和4年度中の
工事着手を目指して
います！



完成予想図
（平成30年公表）

たくさんの笑顔が集まる場所になるよう整備を進めます。